



たかつな




発行責任者 濱中 浩

令和5年 11月 20日

～11月 人権教育強調月間

「よく考えよう」～ 校長講話から



<p>同じ色でしょうか。</p>  <p>紫色 なす紺色</p>	<p>どちらに入りますか。</p> 	<p>紫はどちらにも入らない。 紫は紫。赤でも青でもない。 それを赤や青に当てはめようとする 無理が出てくる。</p>
<p>世界に一つだけの花 NO. 1にならなくてもいい もともと特別な only one</p> <p>花屋の店先に並んだいろんな花を見ていた 人それぞれに好みはあるけどどれもみんなきれいだね この中で誰が一番なんて争うこともしないで バケツの中誇らしげにしゃんと胸を張っている</p>	<p>バラの花はバラの花の美しさを誇っているが、 百合の花にはなれない。 百合は百合の美しさを誇っているが、 バラの花にはなれない。 どちらの花もそれぞれの美しさをもっており それを比較することはできない。 人間もまた同じ</p> 	<p>みんなそれぞれの色を持っています。 ぜひその色を鮮やかに輝くように磨いていってほしい。</p>

〔校長講話より資料抜粋〕

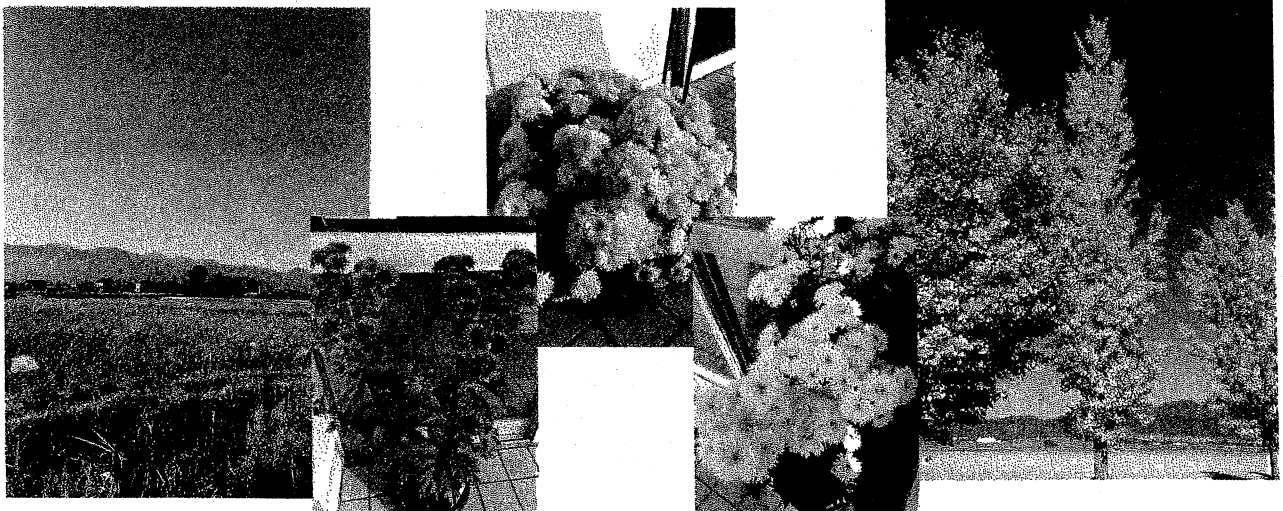
11月の人権教育強調月間に併せて、校長講話の中で話がありました。

色の見え方は人によって違う。紫色は青色にも赤色にも入らない。それを当てはめようとする無理が生じる。人間も同じで、それぞれの色を磨いていってほしい。といった内容でした。

先月行われた性の多様性講座でも話がありましたが、それぞれの個性を認め合い、尊重し合える関係づくりを意識し、みんなが居心地の良い学校になっていくことを期待しています。

またこの月間では、すべての人が幸せに生きる権利について各学年で学習を進めています。

1年生は「個々の人権感覚を伸ばす」ことを目標として、友だちの良さに気づく、人権問題に気づく視点を持つような学習をしています。2年生は、「様々な人権問題から、社会の中での生き方を考える」として、主にハンセン病の問題について学んでいます。3年生は、「社会的立場が違って、基本的人権を守る・守られている感覚を養う」として、同和問題について考えています。日々の生活の中でも、人権の視点から考え学ぶ機会は多々ありますが、それぞれの学習においても、個々の人権感覚をさらに養ってくださることを願います。



～地域の方々との関わりから～

○高綱中生と語る会

3年生は、4月から総合的な学習の時間で、自分の住んでいる地域の街づくりについて学習を進めてきました。その中で、自分たちが考えた提案を、チーム若鷹運営委員や民生委員・主任児童委員の皆様にお伝えし、今後の地域について語り合いました。



～生徒の感想～

- ・地域の方の話を聞くと、電車賃がもう少し安くなると良いとか、年齢を問わずもっと地域がこうなしてほしいという気持ちは同じなんだと思った。
- ・ラウンドワンやアニメイト等という言葉を知らないという話や、中学生と関わることがあまりないという話が印象に残り、こういう機会がないと伝えられなかったので良い会になったと思う。
- ・地域の方と話すことで、地域のことをどれだけ大切に思っているかが分かった。「話が出来て嬉しい」と言ってもらえたのが嬉しかった。いろいろな人に見守れているんだなと思った。

○各地区文化祭

新村・和田・島立の各地区文化祭で、吹奏楽部の演奏発表や美術部の作品を展示する機会をいただきました。新型コロナの影響で長らく制限されていた活動が動き出し、今後地域の方々へ様々な場面で発信等をしていく機会をいただきたいと思います。



～松本大学との連携～

○大学の先生による道徳授業

松本大学の松原先生にお越しいただき、1年生の全学級で道徳の授業を行いました。松本城の保存に貢献した「松本有也先生」について、資料を基にグループや学級全体で学び合いました。地域の題材をテーマとすることで親近感がわき、意欲的な取組みに繋がっていました。

○放課後学習

3年生の希望者を対象に放課後学習の時間を設けています。教育学部の学生ボランティアの力をお借りして、集中して学習に励んでいます。限られた時間ですが、自分の目標に向かって取り組んでいきましょう。

